

素敵な教職員の皆さんに、
ONとOFFのスマートスタイルについてお聞きしていきます。



しなやかに

ON
Style

芸術文化系支援グループ主幹
室 智子

略歴
富山大学経済学部 卒業 富山大学教育学部
高岡短期大学学生課 採用 富山高等専門学校管理課
富山大学経理部 富山大学総務部 などで勤務

私は大学を卒業後、高岡短期大学に採用され、その後、富山大学、富山商船高等専門学校を経て、今年20年ぶりに富山大学高岡キャンパスに異動になりました。学生系、庶務系、会計系と様々な業務に携わり、とても良い経験をしました。いろいろな方々と仕事ができ、何より私の財産となっています。良い経験といえば、昨年、富山大学からの推薦で富山県主催 第1期「煌めく女性リーダー塾」に参加したことも一つです。この塾に参加したことで異業種の方々と知り合うことができ、ここで得られた知識、経験が、私を変えました。

貴重な経験の1つめは、借越ながら塾生の会長の仕事を務めたことです。当初、二男の部活動の保護者会長も引き受けていたため、お断りしましたが、リーダー塾の講話の中で、NPO法人J-Win理事長・内永ゆか子氏の言葉「自分ではなく、周りが決める」を聞き、皆さんに選んでいただいたことを嬉しく、ありがたく思い、挑戦してみようと思えました。

2つめはこの塾で、世界で活躍されている女性の講演、専門家の方々による勉強会や、知事とのランチトークなど、普段は聞けないお話を、具体的に聞けたことです。みなさんの話に、大

変刺激を受けました。

3つめは、アドバイザーの稲田恵子氏（株インテック）やサブアドバイザーの佐藤香氏（YKK 株）、宮崎としみ氏（北陸コカ・コーラボトリング株）をはじめ、塾生の皆さんからたくさん影響を受けたことです。地域や風土に、女性が働くことに対する固定的な考えがある中、身近なところで努力している方々に出会い、見聞きできたことが、大いに参考になりました。

以上が私を変えた主な要因ですが、塾に参加するにあたり、問題点もありました。

もともと仕事と家庭の両立が大変だったところ、研修が加わりさらに負担が大きくなったことです。毎回のレポートもさることながら、グループワークのプレゼンテーションにはとりわけ苦労しました。研修時間内ではまとめることができず自宅でも課題に取り組み、塾生仲間とはメールでやり取りをしたり、休日も集まったりと、レポートやプレゼンテーションをよりよいものにするためにかなりの時間を費やしました。しかし、大変だった半面、達成感もあり、学生時代の部活動のような、楽しく充実した時間を過ごすことができました。塾生仲間とは今も交流があります。今では、この塾に参加して本当によかったと思っています。

リレーでつなぐ ワーク・ ライフ・ バランス vol.8

私にとって、仕事を続ける上での一番の問題は「時間が絶対的に不足している」ということです。

私はこれまで、仕事も家事も最低限のことをこなすのが精一杯でした。誰でも、その時々のおかれている状況によって仕事と家庭のバランスを取る度合いは変わってくるのではないのでしょうか。状況に合わせて、仕事と家庭を両方とも無理をしないで続けていくバランスが大切だと思います。

私がこれまで仕事を続けてこれたのは、上司の理解と先輩や同僚の協力があつたからです。広く周りの人々と交流をもてば、意外と身近に同じような経験者がいて問題解決の糸口を教えてもらえることがあるということに気づきました。私は周囲の方々に恵まれていました。この感謝の気持ちを、今度は私が若い世代に返すことで表していきたいと思います。



休日は家事を楽しんでいます。



富山大学男女共同参画推進室

News Letter

Office for Gender Equality, University of Toyama

2014.6
第8号

TOPICS

- 受賞報告
- 新メンバーの紹介
- 産前産後休暇期間中の掛金免除の特例について
- 活動報告
- お知らせ

チューリップの花言葉は、「愛・思いやり」です

速報

平成26年度『女性が輝く元気企業とやま賞』受賞

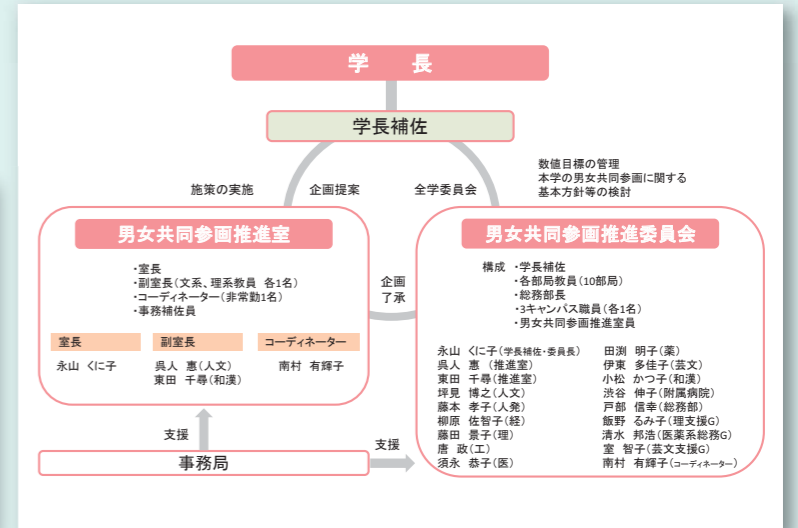
この賞は、女性の登用・活用及び能力開発に積極的に取り組む企業等に対して富山県より授与されます。

新メンバーの紹介

平成26年4月、新年度の転出・転入に伴い、一部委員に変更がありました。新任メンバーに3名を迎え、この布陣で平成26年度第1回の男女共同参画推進委員会を4月25日(金)に開催しました。



平成26年度 男女共同参画推進委員会メンバー



新制度

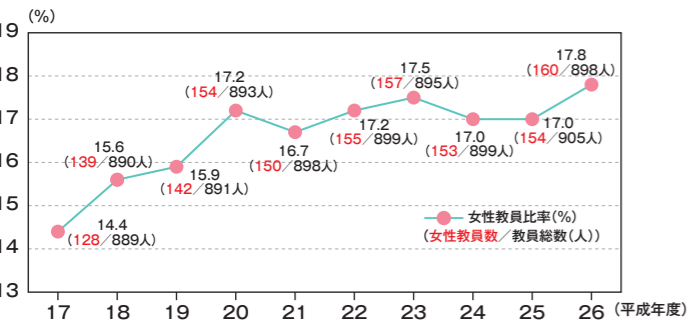
平成26年4月から出産を迎えられる方に新しい制度が始まりました。



産前産後休暇期間中の掛金免除の特例について

この特例を受けるには申出が必要です。
産前産後の休暇が決まりましたら、人事労務グループにお問い合わせください。

※共済組合以外の方も産前産後休業期間中の保険料免除を受けることができます。



数字で見る 富山大学のいろいろ

【富山大学の女性教員比率の推移】

富山大学の全教員に占める女性教員の比率とその算出根拠となる女性教員数、教員総数を示しました。平成17年度(10月1日現在)以降、着実に女性教員の比率は上昇傾向にあります。特に平成26年度(5月1日現在)では、教員総数の急激な減少(例えば団塊の世代の男性の定年退職によるなど)ではなく、女性教員数の増加に起因した女性教員比率の上昇が起きていることがわかります。その間、平成20-22年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業を経て、その後も女性研究者の環境整備が行われてきました。今後も継続的な事業の取組により、女性教員比率のさらなる上昇が期待されます。

編集後記

News Letter 8号 編集長の藤田景子です。本号より始めた「今注目のことば」のコーナーは如何でしたか？漫画を書くだけの能力も時間もなく今回のようなものになりました。時計を5時に合わせたり買い物袋には実際にカレーを作る食材を入れて写真を撮るなど工夫をしましたが目立たなかったこと、コミック本のように言葉を縦書きにすることができなかったことなど思い描いていたようにはできあがらず残念でした。でも、皆様からの御意見で改善されこのコーナーが存続することを期待しておりますので「何の略?この言葉を取り上げて」など御意見御要望がありましたら男女共同参画推進室にお寄せ下さい。

富山大学男女共同参画推進室News Letter 編集メンバー
藤田景子 田淵明子 永山くに子 呉人恵 東田千尋 南村有輝子 須藤梨沙



発行
富山大学男女共同参画推進室

〒930-8555富山市五福3190
E-mail smart@ctg.u-toyama.ac.jp
TEL076-445-6146 FAX076-445-6063
URL http://www3.u-toyama.ac.jp/kyodoss/



活動報告

サンフォルテフェスティバル2014に参加しました

- 開催日:6月28日(土)~29日(日)
- 展示期間:6月28日(土)~7月4日(金)
- 会場:富山県民共生センター サンフォルテ

サンフォルテフェスティバルは、男女共同参画週間に伴い開催されます。本学は、『輝く女性研究者たち!』というタイトルで「展示」部門に参加しました。

男女共同参画週間イベント

毎年、6月23日～29日の7日間は、男女共同参画週間です。これに合わせ今年度初の試みとして、本学は国立女性教育会館より「生き方」や「男女共同参画」などをテーマにした本を50冊借り受けました。これは、男女共同参画推進室の提案が、中央図書館の全面的な協力により実現したものです。6月2日から8月29日まで貸出しを行っています。皆様、この機会に、ぜひ手に取ってご覧ください。

国立女性教育会館所蔵図書特別展示
男女共同参画
 ってなあに？

男女共同参画とは
 男性・女性ともに自分らしさを大切にすること
 みんなが活躍できる社会を男女共同参画社会といふんだよ

毎年6/23から6/29までの
 一週間は男女共同参画週間なんだよ

今回、国立女性教育会館から50冊の本を借りたんだよ
 先輩たちの生き方に学び
 男性・女性共に自分らしい生き方をみつめよう！
 1階 企画展示コーナーに来てね！

配架場所：中央図書館 1階 企画展示コーナー
 展示期間：2014年6月2日(月)～8月29日(金)
 貸出期限：8月26日(火)返却期限厳守
 展示内容：
 国立女性教育会館 女性教育情報センター所蔵図書60冊
 「男女共同参画」「生き方」「ワークライフバランス」「イクメン」「セクシュアリティ」「理科系」等をテーマにした書籍

◆平成26年度研究サポーター制度 前期利用者が決まりました ～前期採択者は12名(女性5名、男性7名)～

研究サポーター制度は、平成21年度に女性研究者の教育・研究活動の環境整備の一環として開始しました。平成23年度からは、子どもの養育や家族を介護している男性研究者も支援の対象になりました。今年度からは、年2回の公募に加え、突発的な理由で支援が必要になった場合にも申請が可能になりました。

◆男女共同参画推進室セミナー 「留学をキャリア形成に 活かすということ in 五福」

海外留学経験を経て、本学で活躍している教職員を講師に招き、留学体験談をうかがいました。42人が参加し、留学がどのようにキャリア形成に役立つのかについて理解を深める機会になりました。

開催日時：平成26年6月19日(木) 16時～18時
 開催場所：五福キャンパス 人文学部1階大会議室
 講演者：舟田 真也(研究振興部国際交流グループ・事務職員)
 松村 茂祥(大学院理工学部(理学)・助教)
 澤田 哲生(人文学部・准教授)

お知らせ

◆ベビーシッター・休日保育利用料補助制度 非常勤教職員にも対象を拡大しました

教育・研究業務や入試業務等と育児の両立を図るためにベビーシッター・休日保育利用を行った教職員が申請された場合、助成を行っています。この制度は、事前申請・立替払いによる支援です。利用者を随時募集しておりますので、詳しくは下記URLをご覧ください。
http://www3.u-toyama.ac.jp/kyodoss/seido_b.html

対象

本学に勤務する教職員(常勤・非常勤)で、
 中学校就学前の子を養育している方
 (男女問わず)

◆夏季学童保育 今年の夏も富山大学主催の夏季学童保育を行います

今年は右記のように申込受付期間を設けました。参加を希望される方は、申込受付期間内にお申込みください。詳しい内容については、学内グループウェアや学部等を通じてご案内します。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日：7月28日(月)～8月8日(金) (平日の10日間)
 会場：五福キャンパス黒田講堂会議室・共通教育棟会議室
 杉谷キャンパス医学部看護学科棟2F会議室
 申込受付期間：7月7日(月)9時～7月11日(金)17時
 申込方法(先)：Email yurinoki@ctg.u-toyama.ac.jp

◆女性職員研修 『女性活躍セミナー』～きつときとネットワーク～

女性職員が一層の活躍ができる男女共同参画社会の実現に向けた取組の一環として、意識の啓発・能力の向上を図ることを目的に、『女性活躍セミナー』～きつときとネットワーク～を開催します。本学男女共同参画推進室ならびに総務部人事企画グループの共催です。

開催日時：平成26年8月26日(水)14時～17時15分
 開催場所：富山大学五福キャンパス黒田講堂会議室
 内容：1. 講演室 智子
 (芸術文化系支援グループ主幹、
 富山県生活環境文化部主催「煌めく女性リーダー塾」第1期会長)
 2. グループワーク
 「入職から良かったこと、困ったこと、そしてこれから」
 対象：富山大学常勤の女性事務系・技術系職員で20代から30代を中心に興味・関心のある方40名程度
 懇親会：「AZAMI」17時30分～18時30分 会費/500円(軽食)

注目のごとば
 その意味
 知ってる? **第一回**
イクメン
 協力 理工学部教育学専攻院生

あいつ毎日定時で帰っているけど、出世にひびかないのか?
イクメンプロジェクト*
 っていうものがあるから大丈夫じゃない?

5時だ! お先にー。
 お疲れ様でした。

イクメンプロジェクト*
 っていうものがあるから大丈夫じゃない?

そうか、俺も育児休業制度を活用してイクメンナンバーワンになるぞ～。

イクメン育男だって、それより、子供いたっけ?

イクメン???
 何だ、それ?

イクメン?どこが?俺の方がカッコいいと思うけど。

それに、あいつは我が社のイクメンの星だよ

イクメンでなくてイクメン!

先日イクメンパパになったんだよ。さっそく育児申請してくるよ。

お、5時だ! お先に。

あーあ、あいつも、イクメンパパか。

一ヶ月後...

***イクメンプロジェクト**
 改正育児・介護休業法の趣旨を踏まえ、男性の子育て参加や育児休業取得を促進し、働く男性が、育児をより積極的にすることや、育児休業を取得することができるよう、社会の気運を高めることを目的とし、2010年6月17日より始動した厚生労働省のプロジェクトである。育児をすることが、自分自身だけでなく、家族、会社、社会に対しても良い影響を与えるというメッセージを発信し社会にその意義を訴えている。

2014富山大学市民講座『輝く女性研究者たち』

会場：富山大学 五福キャンパス黒田講堂 時間：14:00～15:30
 主催：富山大学 共催：読売新聞北陸支社

講師名	日	タイトル
永山 くに子 (学長補佐・富山大学名誉教授)	8/30	今問われる『家族力』
竹内 登美子 (大学院医学薬学研究部(医学)・教授)	9/6	認知症Q&A 一認知症の人と介護家族の声から学ぶ一
大工原 ちなみ (人文学部長・教授)	9/13	文学的想像力を豊かにーユダヤ文学を通じてー
東田 千尋 (和漢医学総合研究所・准教授)	10/4	伝統薬物研究が拓く神経変性疾患克服への希望
島添 貴美子 (芸術化学部・准教授)	10/11	富山人と獅子舞、その「当たり前」な関係
神川 康子 (人間発達科学部長・教授)	10/18	生活の質(QOL)向上をめざして睡眠研究40年

2014富山大学市民講座
輝く女性研究者たち

8/30 永山 くに子
 今問われる『家族力』
 1990年代以降、日本は少子高齢化や経済成長の停滞など、急速な社会変化を伴う中で、家族のありかたや役割も大きく変遷しています。その中で、家族のありかたや役割も大きく変遷しています。その中で、家族のありかたや役割も大きく変遷しています。

9/6 竹内 登美子
 認知症Q&A 一認知症の人と介護家族の声から学ぶ一
 65歳以上15人に1人が認知症と診断される。その中でも、認知症の人と介護家族の生活は、大変な困難を伴っています。認知症の人と介護家族の生活は、大変な困難を伴っています。

9/13 大工原 ちなみ
 文学的想像力を豊かにーユダヤ文学を通じてー
 ユダヤ文学は、その独特の世界観と、多岐にわたるテーマによって、読者に深い感動を与えます。ユダヤ文学は、その独特の世界観と、多岐にわたるテーマによって、読者に深い感動を与えます。

10/4 東田 千尋
 伝統薬物研究が拓く神経変性疾患克服への希望
 伝統薬物研究は、長い歴史と伝統を誇る。その中でも、神経変性疾患の克服への希望を、伝統薬物研究は、長い歴史と伝統を誇る。その中でも、神経変性疾患の克服への希望を、伝統薬物研究は、長い歴史と伝統を誇る。

10/11 島添 貴美子
 富山人と獅子舞、その「当たり前」な関係
 富山人と獅子舞の関係は、長い歴史と伝統を誇る。その中でも、富山人と獅子舞の関係は、長い歴史と伝統を誇る。その中でも、富山人と獅子舞の関係は、長い歴史と伝統を誇る。

10/18 神川 康子
 生活の質(QOL)向上をめざして睡眠研究40年
 睡眠は、人間の健康と生活の質(QOL)に大きく影響を及ぼす。その中でも、睡眠研究は、長い歴史と伝統を誇る。その中でも、睡眠研究は、長い歴史と伝統を誇る。

期間：平成26年8月30日(土)～10月18日(土)
 会場：富山大学 五福キャンパス黒田講堂
 定員は毎回500名です。先着順で事前申込みが必要です。
 受講無料